

令和6年度「#あおばな in 八戸第一養護学校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年7月3日（水）10：45～11：50

○場所：県立八戸第一養護学校 体育館

○参加学生：8名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①心のバリアフリーについて
- ②車いす使用者用駐車場の適正な利用について
- ③車いす使用者が感じる道路に関する課題（道路幅、段差等）について
- ④障がい者用のトイレの設置状況や設備について
- ⑤障がい者複数名分の新幹線予約手続きに係る課題について
- ⑥外出時のヘルパー等の利用について

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・（働くことについて）大切なことは、みんながどういう仕事をしたいかということと、世の中がその仕事を準備できているかということ。そして、気持ちがわかる人が気持ちを込めて仕事に就くことが大事だと思う。バリアフリーに対する思いは、みんなすごくあると思う。自分のためだけでなく、学校の後輩や次の世代の子どもたちに、すごく気持ちを込めて仕事ができると思う。ぜひ夢に向かって頑張ってほしい。

